

# 第一学院高等学校 名古屋キャンパスでの出前講座



名古屋自然保護官事務所は、7月13日に第一学院高等学校にて出前講座を実施しました。

講座内容は主に藤前干潟の現状とそこに生息する多様な生物の紹介であり、干潟が守られた経緯やゴミ問題についても触れて説明しました。また、ヨシや干潟の泥、漂着ゴミの実物を持参して、手にとってよく観察していただきました。

藤前干潟について知らない生徒が多く、一見地味な環境である干潟に多様な生物が生息しており、水質浄化をはじめとする多くの働きがあることを説明すると興味深そうに聞いていました。干潟が守られた経緯や、現在も発生しているゴミ問題を中心に説明することで、生徒たちに藤前干潟の重要性を理解してもらえたと思います。

生徒の中には身近な生物に興味があり、以前は近所で釣りや生き物採りをしていたと話すと生徒も見られ、ボランティアで藤前干潟のゴミ清掃活動を希望する生徒も見られました。

都会の中では自然にふれあう機会が少ないので、本講義で少しでも自然環境に興味を持っていただけたのではないかと思います。



講義の様子

## ◆実施概要◆

実施日：平成24年7月13日（金）

13:30～14:15

場所：第一学院高等学校

名古屋キャンパス（東区）

対象：高校生1～2年（25名）

対応：名古屋自然保護官事務所職員2名

## ◆講座の内容◆

### 【テーマ】

藤前干潟の現状とそこに住む多様な生物

1. 藤前干潟の位置
2. 干潟とは？
3. 藤前干潟に住む多様な生物
4. 干潟の持つ働き
5. 藤前干潟が守られた経緯
6. 藤前干潟が抱える問題

2012年7月13日

名古屋自然保護官事務所 アクティブ・レンジャー

上野 淳一

